



## 加速する岡谷の創生

岡谷市長 今井 竜五

新年おめでとうございます。

市民の皆様には、輝かしい新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

昨年の市長選挙におきましては、多くの市民の皆様の温かい励ましとご支援を賜り、三たび、岡谷市政運営の重責を担わせていただくことになりました。これからも皆様の期待と信頼に応えられるよう、岡谷市発展と市民福祉向上のため努力を重ねてまいります。

昨年は、市民の皆様の多大なご理解、ご協力のもと、新消防庁舎の開署や新岡谷市民病院の開院を迎えることができたほか、各種事業がそれぞれ、それぞれの目標に向かって大きく前進し、明るく嬉しい話題が多かった一方で、岡谷市川岸地区山林火災が発生し、改めて災害の恐ろしさを痛感させられた年でもありました。

また、全国においては、地方創生元年として、人口急減・超高齢化と

いう直面する大きな課題に対し、各地域がそれぞれの特徴を活かした自律的で持続的な社会をつくるための地方創生の大きな動きが始まりました。

迎えました新年、岡谷市におきましては、「岡谷市まち・ひと・しごと創生総合戦略」に基づき、産業振興や岡谷ブランドの発信、子育て支援などに力を入れ、工夫を凝らした施策を展開し、住むことに誇りと自信そして愛着を持てる岡谷市を創生していく大切な年となってまいります。

岡谷市を取り巻く環境は依然として厳しい状況にございますが、この状況を乗り越え、将来都市像として掲げた「みんなが元気に輝く、たくましくいまち岡谷」の実現をめざして、市民の皆様とともに、将来に夢と希望の持てるまちづくりを進めてまいりますので、引き続き、特段のご理解とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

平成28年が、災害のない平穏な年となり、市民の皆様にとりまして、輝かしく、幸多き一年となりますよう祈念申し上げます。新年のあいさついたします。

平成28年 元旦

## 新春スクープ

# 「待ってました!」

おもたかや

# 澤瀉屋!」

特集

歌舞伎役者、

市川笑野さん、登場です。

いちかわえみの

市川笑野さんは、岡谷市観光大使（2014年10月15日就任）。「ふるさとのために、できることがあれば…」と、日々、岡谷の発信に努めてくださっています。去る11月6日「岡谷ふるさとまつり」の会場にも、その姿あり。10月からのロングラン公演「スーパー歌舞伎IIワンピース」（新橋演舞場／市川猿之助主演）に出演中（11月25日千秋楽）、多忙なスケジュールを縫って駆けつけてくださいました。そんな笑野さんの思いを、素顔を、市民のみなさんに届けるべく、広報おかやも奮起! 同じく岡谷出身、笑野さんの後輩の市川喜美介さんにも同席いただき、ハレの新年号インタビュー企画を実現。聞き手は、岡谷市観光協会会長の中村文明さんです。



岡谷ふるさとまつりにて。今井市長と中村会長が笑野さんを囲んで

市川笑野 プロフィール

本名/小嶋 豊 岡谷市生まれ(36歳)  
 芸歴/母(藤間微豊華)の影響で、2歳から日本舞踊に親しみ、4歳で母の師、藤間微野に師事。岡谷東高校在学中、紫派藤間流師範に昇格。卒業後、上京。師匠の藤間微野、家元藤間紫らの勧めにより、歌舞伎の道へ。三代目市川猿之助(現・猿翁)に入門。市川笑野を名乗る。2013年、名題昇進。  
 屋号/澤瀉屋(おもだかや)



左より 市川喜美介さん、市川笑野さん、中村会長

「スーパー歌舞伎Ⅱ ワンピース」

原作は、海賊王をめざすルフィの冒険、仲間との航海を描く大ヒット漫画「ONE PIECE」。同公演は、兄エースを救うルフィの闘い「頂上戦争編」の世界観をスーパー歌舞伎として舞台化したもので、笑野さんは、村娘マーガレットとニューカマー・レイコの2役、喜美介さんは、「白ひげ海賊団」の一味などで登場。



「ワンピース」という、これまた思いつきりぶつ飛んだ演目になっていますので、舞台を勤めるのに必死ですが、お客さんとの一体感は独特で、いい刺激をいただいています。

**中村** まずは「スーパー歌舞伎Ⅱ ワンピース」、想像以上のスーパーエンターテインメントでした。斬新でエキサイティングで、感動しましたが、スーパー歌舞伎と古典の歌舞伎では、演じるときの気持ちなどに違いはありますか。



**市川喜美介** 芝居が変われば、役も変わり、気持ちも変わりますが、それでも、今回は、衣裳やカツラも音楽も洋ですしね。師匠(三代目猿之助、現猿翁)が、現代的な感覚を取り入れようと30年前に始めたスーパー歌舞伎ですけれど、本公演は、ワンピースという、これまた思いつきりぶつ飛んだ演目になっていますので、舞台を勤めるのに必死ですが、お客さんとの一体感は独特で、いい刺激をいただいています。



**中村** 喜美介さんはいかがですか。  
**市川喜美介** 経験の浅いわたしにとつては、新しい挑戦の連続です。とくに、ダンスですかね…日本舞踊とは全然違うので、むずかしくて。それでも、身体が慣れると、なんとかサマになってきました。  
**笑野** ふたりとも、子どものころから日本舞踊をやってきて、その延長というか、ご縁をいただいで、歌舞伎の世界に入ったわけですが、まさか、ネットを履いてダンスを踊るとは思っていませんでしたよ。でもね、チャレンジさせていただける機会をつくってもらえたことに、感謝しています。  
 わたしが岡谷にいたころ、喜美介君は、何歳だった?  
**喜美介** 4歳です。わたしの実家は、笑野さんの実家の隣で…。わたしが、笑野さんのお母様にお踊りを習い始めたときに、は、もう笑野さんは歌舞伎役者になっていました。それで、笑野さんの後援会のツアーで、たびたび歌舞伎を観るようになって。スーパー歌舞伎に衝

撃を受けたこと、そして、旦那(三代目猿之助)が倒れたあと、門弟筆頭の市川右近さんが、旦那の代役を勤め、一門を引っ張っていらした姿に感動して…それで歌舞伎役者をめざしました。  
**笑野** 隣家の少年が、バスツアーで来てくれるたびに、どんどん成長して、歌舞伎を志して、同じ一門に入っていて、一緒に歌舞伎を支えているわけです。  
 わたしの入門当時をいえば、師匠は、大スター三代目猿之助、その人のそばにつかせてもらうということが、まず試練でした。お迎えに行き、朝ご飯の準備をし、洋服を選んで師匠の身支度、一緒に劇場に入って芝居をし、夜9時くらいに終わって食事、宿に戻ったら、パジャマや寝る支度を調べて、翌日の朝ご飯の段取りまでつけて帰るとい生活はずっとしていましたが。一番下っ端から入って、師弟関係の筋目を勉強させてもらう、それが修行なわけですが、それまでの人生で経験のないことでしたから、大変でした。師匠の舞台での姿だけではなくて、私生活の部分、



市川笑野舞踊会より  
 常磐津「将門」忍夜恋曲者  
 左: 滝夜叉姫(笑野さん)  
 右: 光圈(市川右近さん)

ふだんをずっと見させてもらったというの、貴重な財産になったと思っ  
ています。

**中村** 菓子屋のわたしも、修業時代は、やはり同じようなことをして  
いました。マスターと家族のように  
過ごすうち、技術だけではなく、生  
きざまを教えてもらいました。だか  
ら、今でも、何か困ったことがあると、  
すぐ電話してしまいます。

**笑野** 今、右近さんについている喜  
美介君にしても、わたしのころとは  
また状況は違いますけれど、舞台の  
裏には、楽屋があり、生活があつて、  
右近さんの表舞台、晴れ姿を支える  
裏のしごとがあるわけで、劇場で、一  
緒に暮らしているみたいなのです。

**中村** 役者になって、生活で気をつ  
けていることは？

**笑野** 飲み過ぎない(笑)、夜更かし



しない、とかです。開演時間は、毎  
日1秒もたがわず、きっちりですか  
らね。緊張感を持って、体調を維持  
し、舞台に臨む自分であることです。  
**喜美介** けがをしないことです。劇  
場を出たら、車に気をつける、自転  
車で転ばない、ぶつからないなど  
です。足を打撲したりなどしてしま  
うと、舞台での立廻りに支障が出ち  
うので。

**笑野** 長く引きずるようなけがをす  
ると、将来にも響いてきちゃいます。  
立役(男役)はとくに。

**中村** それにしても、人口5万ちょ  
との岡谷が、歌舞伎役者を2名排  
出：って、すごいことです。こんな  
まちは、なかなかないでしょう。

**笑野** ないです、ないです。

**中村** 「岡谷おどり」の振りつけをし  
てくださったのが、藤間紫さんと聞  
きました。岡谷と歌舞伎を結ぶ架  
け橋だったかもしれませんね。

**笑野** まさに、岡谷とのつながりは、  
そこから始まっています。紫先生が、  
振りつけをしたのは、母が藤間流と  
出会うより前、昭和40年だそうで



岡谷おどりの教則本

す。紫先生は当時、六世藤間宗家  
の妻。格式高い名門ですし、片田舎  
の盆踊りの振りつけをするなんて、  
あり得なかつたはず。きつと当  
時の岡谷市の熱意が伝わったので  
しょうね。

あと、太鼓祭りのことは、よく憶  
えています。

ずっとやって  
いたせいか、  
今でも、打  
ちたいなつて  
思うときが  
あつて、自  
分の結婚式  
で、打ちま  
した。



小の校庭に水を張って、スケートリ  
ンクをこしらえていました。冬の体  
育の時間は全部スケート。しかも、  
スピードスケートでビュンビュン  
(笑)。

**中村** 喜美介さんは、どんな思い出  
がありますか。

**喜美介** 横河川の上流は、とつてお  
きの場所、夏の思い出です。立ち入  
り禁止になるぎりぎりのところまで  
行つて、友だちとしようちゅう川遊  
び。水は冷たかつたけれど、とても  
きれいで、プールに行くより、川で  
泳ぐのが好きでした。自然がいっ  
ぱいで…。

**中村** 観光大使としては、岡谷にと  
んな感想をお持ちですか。

**笑野** 「絹のまち」というのは、岡  
谷人の誇りだと思ひますが、過去を  
語るだけで  
は、寂しいか  
など。現在進  
行形で、シル  
クは岡谷の産  
業といえる  
いいなと思  
ひます。すば  
ら



横河川の上流





**笑野** 歌舞伎もそうですけれども、常に新しいものを取り入れて、どんな生まれ変わっていくのって必要です。岡谷の絹もね、

しい「シルクファクトおかや」もありませんからさらに、シルクの新たな可能性、産業としての未来を切り開いてくださるよう期待しています。

**中村** 岡谷は、糸の輸出で発展しましたが、シルクを核としたまちづくりや観光振興を考えると、糸取りだけではなくて、桑を栽培しカイコを育てるだとか、織物、製品としてだとか、今動き始めている活動をリンクさせて、アピールしていかないとですね。



岡谷蚕糸博物館「シルクファクトおかや」

遺産にならないように、今に生きる！  
…ではないでしょうか。

あ、これ、岡谷市観光協会さんからいただいた、楽屋用の夏のれんです。糸をとって紡ぐ、織る、仕立てる…工程が尊いですよね。岡谷の絹にしか出せない風合いだとか、もともとというんなバリエーションで商品が生まれるといいですね。宮坂製糸所さんを案内していただいた際、工場で、こういう透け感のある女性の夏の夏帯に目がとまり、すごくいいなって思いました。まさにこののれんが、その織りです。



このストールもいいでしょう。ウールのものだと、ちくちくするという

人にも、お勧めですよ。今、アレギーとか多いけれど、シルクなら大丈夫じゃないでしょうか。生地の魅力ですよ。

**中村** 岡谷に対する周りの反応はいかがですか？

**笑野** 楽屋にこののれんをかけていると、みんな何？って興味を持ってくれます。それで話をすると、へえーっ



第1回の舞踊会に岡谷までかけつけてくださった師匠の市川猿翁さん(中央右)と藤間紫さん(中央左)

て。やっぱり現物を目にするって違いますね。ブログでは、得られない反応です。あと、これは観光大使になる前からのことですが、岡谷で舞踊会をやらせてもらっていて、第1回目の舞踊会には、師匠と藤間紫先生が来ていただきました。紫先生が、岡谷：懐かしいわねって喜んでくださって。右近さんにも、その後出演していただきました。そういうところからでも、岡谷に目を向けてもらえるように、これからもできたらいいなと思います。

長野県ですごく遠いと思っている東京の人、意外と多いです。舞踊会やるの？岡谷ってどこ？…そう聞いてくださるので、長野ですと答えると、遠いのね、と。新宿から特急2時間ちよつと乗換なし、という認識はないみたいで。なので、もつと近さを宣伝する必要があるかもしれないですね。

山も湖もあって、いいところですよ。…と紹介していくと、宿泊は？って

なりませよ。せつかくだったら温泉旅館でゆっくりしたいといわれると、上諏訪や下諏訪をお勧めするしかなくて。諏訪はひとつでいいのかもしれないし、ビジネスホテルに泊まって、ロマンチック行ってください、というのもありかもしれないですが、小規模でも、観光と結びつくような個人的な宿があったら理想です。温泉でなくても、これがおもしろいとか、勝負できるものがあれば。

**中村** 観光大使として、今後、やってみたいことは。

**笑野** シルクファクトおかやで、歌舞伎の衣裳展みたいなのを実現させたいです。歌舞伎の衣裳は絹のものがたくさんあり、時代物から世話物まで色々なパターンがあります。解説つきで、間近に衣裳をご覧いただけたら、シルクおかやと歌舞伎の美の共演です。

**中村** 岡谷の食については…？

**笑野** 馬刺し。昔からの赤身の脂っこくないやつが好きです。うなぎは、岡谷にいたころは、あれが蒲焼きと思っ





しょうゆつばい味。諏訪のは、意外にも個性派だったと知りました。ワカサギでも何でも、あの甘辛い味が特徴ですね。懐かしい味です。

**中村** お正月が近いですが、お休みはどんなふうにする?

**笑野** 休みって…ほとんどないですね。今回のワンピースは、昼の部だけで夜の部がない日があったり、めずらしく休演日もあったりして、さすが、公演中は、基本的に休みなしで、次の公演が決まると、稽古が始まって、そして初日を迎えるという連続なので。ぱっと1日休みができて、床屋に行ったり、体のメンテナンスをしたりして、終わっちゃいますが、できるだけ違うジャンルの芝居を見るようにしています。ずっと演者側にいると感覚が麻痺してしまうので。観客になってリフレッシュすると、ひよっと、違うヒントが見つけれられた



りするんです。近々、宝塚歌劇も観に行きます。歌舞伎は男性だけ、宝塚は女性だけ、同一性の芝居が、両方がんばっている日本って、おもしろいですよね。世界的にも、希有な文化だと思えます。

**喜美介** わたしは、自転車が好きなので、乗ってあちこちに出かけます。友だちとビリヤードとかしたりもして、ストレス発散ですね。

**笑野** そんなわけで、恐らく大みそかまで稽古があって、元日は年始のご挨拶、2日からわたしは大阪松竹座、喜美介君は…。

**喜美介** 3日から新橋演舞場です。澤瀉屋一門は、猿翁一門で30



人、段四郎さん、猿之助さんのところを入れると38人。歌舞伎界一の大家所帯で、今回みたいに澤瀉屋一門総出演のスーパー歌舞伎になると、裏方100人、役者100人って、大体そのくらいになります。劇場というのは、昔も今もテーマパークですからね、休んでいられませんか。お芝居見て、ご飯食べて、お客さまに半日楽しく過ごしていただくように努めます。

**中村** 2016年は、どんな1年に? どんな作品に出会えるか、ひたすら精進するのみです。そうだが、岡谷は御柱ですね。4月は、博多でワンピース公演をやっていますので、可能性があるとすれば、5月の里曳きですが、時間がとれたら帰りたいです。一生のうちで何度参加できるかっていうお祭りですものね。燃えるわけです。中学生の時だったかな。木落とし坂の上部のやぐらで、太鼓を打ちましたよ。楽しかった。諏訪は、御柱ひとつとってみても、ユニークで刺激的な土地ですよ。離れてみて、余計にそう感じるようになりました。

**喜美介** とにかく何でもやりたい、挑戦したいです。いろんな役を経験させてもらって、いろんな引き出しをつけて、いい役者になりたいです。けがをしないように、一步一步努めていこうと思っています。



岡谷を発信してくれている笑野さん、そして喜美介さんの活躍を、わたしたちも応援しましょう!!

2016年は…歌舞伎鑑賞デビューしてみましようか?!

## 1月の公演スケジュール

### 市川笑野 出演

#### 「寿初春大歌舞伎」

会場…大阪松竹座

上演期間…1月2日(土)〜26日(火)

時間…昼の部 午前11時〜 夜の部 午後4時〜

主な出演者…坂田藤十郎、中村扇雀、片岡愛之助、市川中車、中村吉太郎

### 市川喜美介 出演

#### 「新春花形歌舞伎」

会場…新橋演舞場

上演期間…1月3日(日)〜24日(日)

時間…昼の部 午前11時30分〜 夜の部 午後4時30分〜

主な出演者…市川右近、市川海老蔵、中村獅童